

事業報告の附属明細書

1. 役員の他の法人等の業務執行理事等との重要な兼職の状況

特にありません。

2. その他の記載事項

(1) 正味財産増減の状況及び財産の増減の推移について補足すべき重要な事項

正味財産期末残高が前事業年度末 617 百万円から当事業年度末 578 百万円に 39 百万円減少した主な理由は、福祉団体等助成事業の支払助成金の増加と研修事業における児童養護施設職員向け研修において新型コロナウイルスの感染拡大の長期化で会場参加とオンライン参加のハイブリッド方式の高機能化及び通年となったことで会場等への支払負担金が増加し、事業費が 28 百万円の増加となったことによるものです。

(2) 調査研究及び情報の収集

児童福祉の現場の実態に即し、実効性の高い活動を行うために、国内外の活動事例の情報収集や児童福祉活動の現場へのフィールドワークを実施しました。

- ① 施設訪問・児童福祉団体等面談 4 施設・3 団体
- ② セミナー及び大会参加 6 回

(3) 職員等研修

2022 年 12 月、コンプライアンス関連知識の向上を目的とし、e ラーニング方式による研修を実施しました。研修プログラムは次のとおりです。

- 1. 社内規程類の内容の再確認
- 2. 主要法令の重要ポイントの再確認
- 3. インサイダー取引規制に関する重要ポイントの再確認